

2 目的別の授業評価シート

授業評価には、「生徒による授業評価」、「教員相互による授業評価」、「保護者、地域住民、学校評議員による授業評価」等がありますが、ここでは主に「生徒による授業評価」の例を目的別に紹介すると共に、授業評価を実施する際のポイントを紹介します。

「生徒による授業評価」を実施する際には、まず、生徒に対して評価の目的や意義について具体的に説明します。そして、アンケート形式等によって実施します。実施後には、集計結果や改善に向けての方策について、生徒に説明します。

授業評価シートは、評価の目的に応じて、様々な様式が考えられます。例えば、選択肢方式の授業評価は、生徒にとって回答が容易であることや、教師にとって分析が比較的容易であるというメリットがある反面、生徒が感想や要望を自由に書くことができないというデメリットもあります。必要に応じて、自由記述だけにしたり、選択肢の問いと自由記述を組み合わせたりするとよいでしょう。また、記名式にすると、教師に対する一方的な批判が少なくなると、責任ある回答が得やすくなり、無記名式にすると、本音が聞き出しやすくなるので、場合によって使い分けると良いでしょう。

以下に目的別の授業評価シートの例を示します。授業改善のねらいに合わせて、質問内容を変えるなど、必要に応じて加工して御活用ください。

(1) 日頃の指導について概括的に把握する場合

* 次のような授業評価は、いわば健康診断のようなものです。指導法の様々な点について網羅的に問うことで、日頃見落としがちな点などが明らかになることが期待できます。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
私の授業について、あてはまるところに○をつけてください。よりよい授業にするために生かしたいと思います。				
4 そう思う	3 だいたいそう思う	2 あまりそう思わない	1 そう思わない	
1 授業の進む速さはちょうどよい。	4	3	2	1
2 先生は、授業のねらいをはっきりと示している。	4	3	2	1
3 黒板の文字や図は工夫されて見やすい。	4	3	2	1
4 先生の説明はていねいで分かりやすい。	4	3	2	1
5 先生は、教科書以外にも、様々な資料や機器を活用して授業を進めてくれる。	4	3	2	1
6 何をどうすればよいか指示されたことが分かる。	4	3	2	1
7 先生は、みんなの話を聞く態度が整ってから、指示をしている。	4	3	2	1
8 考えたり活動したりする時間が確保されている。	4	3	2	1
9 先生の授業は、質問や発言をしやすい雰囲気である。	4	3	2	1
10 先生は、みんなの発表を大切にしてくれる。	4	3	2	1
11 先生は、ほめたり励ましたりして自信をもたせてくれる。	4	3	2	1
12 先生は、一人一人によく声をかけてくれる。	4	3	2	1
13 先生の授業では、やる気が出てくる。	4	3	2	1
14 先生の授業では、教え合ったり、助けたり協力したりする場がある。	4	3	2	1
15 学んだことがテストに生かされている。	4	3	2	1
16 宿題の量や予習・復習の要求基準はちょうどよい。	4	3	2	1
17 知的好奇心が喚起される。	4	3	2	1
18 先生の授業に満足している。	4	3	2	1

(2) 本時の指導について概括的に把握する場合

*生徒一人一人の声を自由記述で読み取るための評価票です。集計に時間的な労力を要しないことから、手軽に実施することができるだけでなく、改善策を素早く打ち出すことが可能になります。事例2(19ページ)で紹介した取組は、次のような用紙の代わりに、2色の付箋を用いたものです。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名
今日の授業について、皆さんが思うことを書いてください。よりよい授業にするために生かしたいと思います。
1 先生の授業のよいところ
<input type="text"/>
2 先生に改善して欲しいところ
<input type="text"/>

*大学によっては、「ミニツツペーパー」や「リアクションペーパー」などと称する授業評価を授業改善に取り入れています。生徒の疑問や質問に対して、次の授業の際に回答したり改めて指導したりするというようにリアクション(反応・応答)することで、授業に対する生徒の参加意識や期待感を高めることが可能になります。

「ミニツツペーパー」の質問例

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名
1 今日の授業で、あなたが重要だと思った内容について簡潔にまとめてください。
<input type="text"/>
2 今日の授業の内容で、疑問に残った点や、分かりにくかった点があれば記してください。
<input type="text"/>

「リアクションペーパー」の質問例

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名
1 授業内容に対する感想
<input type="text"/>
2 個別の質問
<input type="text"/>

(3) 単元や本時の指導について概括的に把握する場合

*単元や授業ごとに、「分かったこと・できるようになったこと」「疑問・質問」「授業に対する要望」などについて質問し、指導の改善に生かすものです。何時間分かの記入欄を1枚の用紙に収めることで、学習のカルテとして利用することができ、生徒の学習の変容や蓄積を見取ることができます。必要に応じて、質問に対する回答を空欄に記入して返却したり、次の時間にクラス全体に説明したりします。集計に時間的な労力を要しないことから、手軽に実施することができるだけでなく、改善策を素早く打ち出すことが可能になります。

*大学によっては、「シャトルカード」と称しています。

科目名() 年 組 番 氏名	
「分かったこと・できるようになったこと」「疑問・質問」「授業に対する要望」などの、学習内容に関するコメントを書いてください。	
月日	コ メ ン ト
/	
/	
/	

(4) 説明や質問等の仕方について把握する場合

*授業改善の視点が、例えば「説明や質問の仕方」に絞られているような場合は、次のようにそれらの課題に沿った質問項目を設定します。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
私の授業について、あてはまるところに○をつけてください。よりよい授業にするために生かしたいと思います。				
4	4	3	2	1
1	2	3	4	1
1	先生の話し方は、言葉がはっきりしていてよく分かる。			
2	話す声の大きさと速さがちょうどよい。			
3	質問で聞かれていることが分かりやすい。			
4	何をどうすればよいか指示されたことが分かりやすい。			
5	先生は私たちの質問にていねいに答えてくれる。			
6	先生の問いかけや指示は、じっくり考えたり、新しいことに気付いたりするヒントになることが多い。			
7	先生へのコメントがあれば、記入してください。			

(5) 教材の準備や提示の仕方について把握する場合

*授業改善の視点が、例えば「教育機器や教材の活用に関すること」に絞られているような場合は、次のようにそれらの課題に沿った質問項目を設定します。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
私の授業について、あてはまるところに○をつけてください。よりよい授業にするために生かしたいと思います。				
4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない				
1 先生は、パソコンなどの機器を活用して授業を進めている。	4	3	2	1
2 学習プリントは、要点が分かりやすく使いやすい。	4	3	2	1
3 先生が提示してくれる資料や教材は学習内容を理解するのに役立つ。	4	3	2	1

(6) 指導の工夫について把握する場合

*授業改善の視点が、例えば「指導の工夫に関すること」に絞られているような場合は、次のようにそれらの課題に沿った質問項目を設定します。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
私の授業について、あてはまるところに○をつけてください。よりよい授業にするために生かしたいと思います。				
4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない				
1 知的好奇心を喚起して興味がわくように工夫している。	4	3	2	1
2 一斉、グループ、ペア、個別など、多様な学習形態を工夫している。	4	3	2	1
3 毎時間の学習の目標や到達度が明確になっている。	4	3	2	1
4 教科書や板書では伝えにくい内容を、パソコン等による映像を用いるなどして、分かりやすく提示するようにしている。	4	3	2	1
5 多様な解答例や模範的なノート等を、クラスで回覧したり、提示したりしている。	4	3	2	1
6 調べたり考えたりしたことを互いに伝え合うことで、新たな気づきがあったり、思考を深めたりする活動が多い。	4	3	2	1
授業に関する感想や意見 (よい点や改善して欲しい点などを書いてください。)				

(7) 指導スキル等について診断的に把握する場合

*次のような、生徒による授業評価に合わせて、同じ評価項目で教師自身も自己評価した上で、双方を照らし合わせて課題を明らかにするというような利用法が考えられます。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
☆このアンケートは、授業をよりよいものにするために皆さんに答えてもらうものです。私の授業について、あてはまるところに○をつけてください。				
1 先生の話し方はどうですか。				
① 言葉がはっきりしていてよく分かる。	4	3	2	1
② 声の大きさは適切である。	4	3	2	1
③ 話す速さは適切である。	4	3	2	1
④ その他()				
2 先生の板書の仕方はどうですか。				
① 文字の大きさは適切である。	4	3	2	1
② 色の使い分けや矢印が分かりやすい。	4	3	2	1
③ 板書に自分たちの意見が生かされている。	4	3	2	1
④ 分かりやすく整理されている。	4	3	2	1
⑤ その他()				
3 問題(質問)の出し方はどうですか。				
① 質問で聞かれていることがよく分かる。	4	3	2	1
② 分かりやすい言葉で質問してくれる。	4	3	2	1
③ 質問後、考える時間を十分とってくれる。	4	3	2	1
④ その他()				
4 説明や指示の仕方はどうですか。				
① 分かりやすい。	4	3	2	1
② ていねいである。	4	3	2	1
③ 具体的に説明してくれる。	4	3	2	1
④ その他()				
5 質問のしやすさ、質問に対する対応はどうですか。				
① 質問や発言をしやすい雰囲気である。	4	3	2	1
② ていねいに応えてくれる。	4	3	2	1
③ その他()				
6 先生の対応はどうですか。				
① 私たちの意見や考えを大切に扱ってくれる。	4	3	2	1
② 失敗や間違いをしても温かく見守ってくれる。	4	3	2	1
③ 自分の考えを引き出そうとしてくれる。	4	3	2	1
④ 答えや考えの良さをほめたり励ましたりしてくれる。	4	3	2	1
⑤ その他()				

(8) 一人一人を大切にしている授業を目指した指導について把握する場合

*授業改善の視点は、教科・科目の内容や指導技術だけとは限りません。次のように、教師と生徒の人間関係の形成に関わることや、コーチングスキルに関わることも大切な視点です。

科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
先生の授業について、あてはまるところに○をつけてください。よりよい授業にするために生かしたいと思います。				
4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない				
1 先生は、親しみを込めて話しかけてくれる。	4	3	2	1
2 先生は、私たちの意見や考えを大切に扱ってくれる。	4	3	2	1
3 先生は、失敗や間違いをしても温かく見守ってくれる。	4	3	2	1
4 先生は、私たちの考えを引き出そうとしてくれる。	4	3	2	1
5 授業の中で、ほめたり励ましたりしてくれる。	4	3	2	1
6 先生の授業では、やる気が出てくる。	4	3	2	1

(9) 学期末に指導を総括的に把握し、次の学期の改善に生かす場合

*授業評価の集計に時間的な労力を割きたくない場合、長期休業中に集計作業を行えば、次の学期での改善策を総括的に把握するとともに、じっくりと検討することができます。

科目名() 月 日 曜日				
☆このアンケートは、授業をよりよいものにするために、みなさんの意見や感想を聞くものです。成績とは関係ありませんので、率直に教えてください。				
4 あてはまる 3 だいたいあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない				
1 学力の身に付く授業が多かった。	4	3	2	1
2 説明はていねいで分かりやすかった。	4	3	2	1
3 教材やプリントなどは、学習内容を理解するのに役立った。	4	3	2	1
4 たくさんの人が発言できるように工夫されていた。	4	3	2	1
5 自分の意見や考えを発言しやすい雰囲気だった。	4	3	2	1
6 先生の話し方は明瞭で聞き取りやすかった。	4	3	2	1
7 板書は見やすかった。	4	3	2	1
8 板書は、学習内容を理解するのに役立った。	4	3	2	1
9 考えたり活動したりする時間がきちんとあった。	4	3	2	1
10 私たちの考えや意見をよく聞いてくれた。	4	3	2	1
11 分からないところや難しいところをきちんと説明してくれた。	4	3	2	1
12 生徒の理解度を確認しながら教えてくれた。	4	3	2	1
13 先生は勉強の始まる時間や終わる時間を守っていた。	4	3	2	1
14 熱意をもって教えてくれた。	4	3	2	1
15 宿題の量や予習・復習の要求基準はちょうどよかった。	4	3	2	1
16 授業がおもしろかった。	4	3	2	1
17 授業内容が分かった。	4	3	2	1
18 授業中進んで発表することができた。	4	3	2	1
19 私は、学習に主体的に取り組んだ。	4	3	2	1
20 私は、先生の授業に満足している。	4	3	2	1
授業に関する感想や要望などがあったら書いてください。				

(10) 生徒の自己評価に始まり、学校・教科としての共通質問や授業者個人の質問を交えて、課題を把握する場合

*生徒に授業に対する取組を自己評価させてから、教師の授業を評価させることで、批判的でなく建設的な評価を導くことが期待できます。

*学校全体の取組として各教科共通の質問項目で評価票を作成している場合、評価の実施や集計の労力が軽減されるというメリットがありますが、教科や授業者個人として生徒に聞きたいことが質問項目にないというデメリットもあります。次の評価票のように、基本的に統一様式にしながら、教科や個人としての質問の欄を設けるようにすれば、より改善に生かすことが期待できます。

授業をよりよいものにするために、皆さんの意見を参考にしたいと思いますので、建設的な観点から、責任をもって回答してください。 科目名() 月 日 曜日 年 組 番 氏名				
あなた自身の自己評価 (授業を受けた科目について)	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① ノートをきちんと取っていますか。	4	3	2	1
② 先生の話をよく聞いていますか。	4	3	2	1
③ 分からないところを解決するようにしていますか。	4	3	2	1
④ シラバスを活用していますか。	4	3	2	1
⑤ 予習や復習を欠かさずしていますか。	4	3	2	1
⑥ この科目の授業(1時間)に対して、家庭学習にどれくらい取り組みましたか。	60分以上	40～50分	20～30分	10分以下
授業に関する質問 (今日の授業または普段の授業について)	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 板書は分かりやすいですか。	①～⑥は、各教科共通の質問項目			
② 授業の工夫がなされていますか。	4	3	2	1
③ 説明や質問の仕方は、分かりやすいですか。	4	3	2	1
④ 生徒に合った教え方やアドバイスをしていますか。	4	3	2	1
⑤ 分からないところが分かるようになる授業ですか。	⑦～⑪は、国語科の共通質問項目例 ↓ 教科毎の内容に合わせて質問項目を置き換える			
⑥ 考える時間や場面が十分にありますか。				
⑦ もっと国語を学びたいと思えるような授業ですか。				
⑧ 「話す能力・聞く能力」が身に付いたと思いますか。	4	3	2	1
⑨ 「書く能力」が身に付いたと思いますか。	4	3	2	1
⑩ 「読む能力」が身に付いたと思いますか。	4	3	2	1
⑪ 「語彙力」が身に付いたと思いますか。				
⑫ 知的好奇心を喚起する授業ですか。	⑫は、授業者個人の重点目標について確認するための質問項目			
授業に関する感想や意見 (よい点や改善して欲しい点などを書いてください。)				

(11) 単元のシラバスに自己評価の欄を設けて授業評価として活用する場合

* 指導内容の理解度や定着度を、生徒に自己評価及び自由記述で振り返らせるとともに、それを授業評価の一つとして授業改善に役立てます。毎時の指導の成果がある程度把握できるだけでなく、授業に対する要望については、次の時間から改善に生かすこともできます。書かれていた質問に対して次の時間に回答したり、学習上の不安に対して励ましの言葉を書いて返したりするというような活用もできます。

第 4 時		第 3 時		第 2 時		第 1 時		学習の目標：二つの文章を比較して、内容を分析・解釈し、説得力のある意見文を書く。	単元名「小論文を書く」(全4時間)
月	日	月	日	月	日	月	日		
1グループ内での相互評価を基に、より説得力のある文章になるように推敲する。		1本文に書かれていることを根拠にして、説得力のある意見文を書く。		1論拠を明確にして自分の考えを書く。		1議論や説得のための文章を解釈する。 2内容について、論理的な関係性を分析・解釈する。		目標	()年()組()番 氏名()
②①の相互評価を基に、自分の意見文を、より説得力のある文章になるように推敲する。		①4人のグループ内で話し読みして、各人の意見文の良い点を10か所、改善点を10か所指摘し合う。 ②どちらの文章がよいと思うか、片方あるいは両方の文章の書き方にふれながら、自分の考えを書く。		①一方の文章に賛成する立場から、あるいは両方の手紙の内容にふれながら、自分の言葉を使って、自分の考えを書く。		①二つの文章のそれぞれに共通する目的を考える。 ②二つの文章の具体例が引き合いにされた理由を考える。		学習内容	○単元のシラバスに示された学習の目標や学習内容を読んで、見通しをもって学習しよう。 ○毎時間の授業の最後に、学習を振り返ってみよう。
4	3	4	3	4	3	4	3	自己評価	(自己評価 4 よくできた 3 だいたいできた 2 あまりできなかった 1 できなかった)
2	1	2	1	2	1	2	1	授業後の感想や質問	
1		1		1		1			

(12) 教師自身または教師同士によるチェックリスト

*教師が自らの授業を自己評価したり、授業研究などの際に授業者の指導法について診断的に評価したりする際のチェックリストです。生徒による授業評価ではありませんが、質問項目を生徒用に転用することもできます。

チェック項目	
【指導計画・学習指導案作成時】	
<input type="checkbox"/>	1 本時や本単元の指導目標に、生徒に身に付けさせたい能力が明確に示されているか。
<input type="checkbox"/>	2 生徒が自ら学ぶ場面が設定されているか。
<input type="checkbox"/>	3 指導の過程における、生徒の活動に対する評価や助言が計画されているか。(評価の観点、評価規準、評価方法等が示されているか。)
<input type="checkbox"/>	4 自己評価や相互評価の方法や場面が設定されているか。
【学習展開・学習活動中の対応】	
<input type="checkbox"/>	5 生徒が落ち着いて学習に取り組める、学習のルールは身に付いているか。
<input type="checkbox"/>	6 自力解決や、課題に取り組む時間が確保されているか。
<input type="checkbox"/>	7 机間指導をしながら、生徒の課題解決の過程や予想される反応などを把握しているか。
<input type="checkbox"/>	8 生徒の反応を確認しながら、結果だけでなく、学習の過程に対しての励ましや賞賛の言葉かけをしているか。
<input type="checkbox"/>	9 生徒の反応を確認しながら、つまずきや誤りに対して、改善点や解決方法等のアドバイスをしているか。
<input type="checkbox"/>	10 自分の解決の結果を評価できるような視点を与えているか。
<input type="checkbox"/>	11 自分の考えや作品を進んで発表する場面を作っているか。
<input type="checkbox"/>	12 級友の考え方や作品と触れ合う機会を作っているか。
<input type="checkbox"/>	13 生徒同士で相互評価する場を設定しているか。
<input type="checkbox"/>	14 進んで発表できた生徒への賞賛の言葉かけをしているか。
<input type="checkbox"/>	15 生徒の反応に対する価値付けを行っているか。
<input type="checkbox"/>	16 生徒が自己評価する場を設定しているか。
【学習後の対応】	
<input type="checkbox"/>	17 自己評価の場を診断し、適切でない場合は個別に指導しているか。
<input type="checkbox"/>	18 解決の結果や作品を、学習の目標の達成という観点で評価しているか。
<input type="checkbox"/>	19 評価したことを、コメントや言葉かけなどで生徒に伝えているか。
<input type="checkbox"/>	20 結果だけでなく、解決の過程や発想の良さを認めて、そのことを伝える工夫をしているか。
<input type="checkbox"/>	21 進歩したことが分かるようなテストの採点の仕方を工夫しているか。
<input type="checkbox"/>	22 生徒の作品に対して、進歩したことが伝わるようなコメントを付けているか。
<input type="checkbox"/>	23 課題が解決できなかった生徒や、作品ができなかった生徒に対して、補習や家庭学習など、対応の仕方を工夫しているか。
<input type="checkbox"/>	24 学習した結果や作品を評価し、素早く生徒に返しているか。